

フクシマ事故が起きて7年半、私が信州に移住してすでに3年半の時間が流れました。フクシマの被害者の方々にとっては、いくら経っても苦難から抜け出ることが出来ない長い年月だったと思います。私にとっては、一瞬のごとく過ぎてしまった年月でした。

事故当時は、私はまだ京都大学原子炉実験所の教員でした。自分が必要と思う仕事をし、その報告、論文を書き、一部は原子炉実験所の「原子力安全研究グループ（通称6人組）」のホームページに載せてきました。そのホームページは、今でも原子炉実験所に残っている今中哲二さんが守り、管理してくれています。でも、今中さんもすでに2年半前に京都大学を定年退職し、今は研究員として残ってくれているだけです。たぶん今中さんも余り遠からず実験所を去ることになりそうです。「原子力安全研究グループ」としてのホームページもその時点で閉鎖になるでしょう。

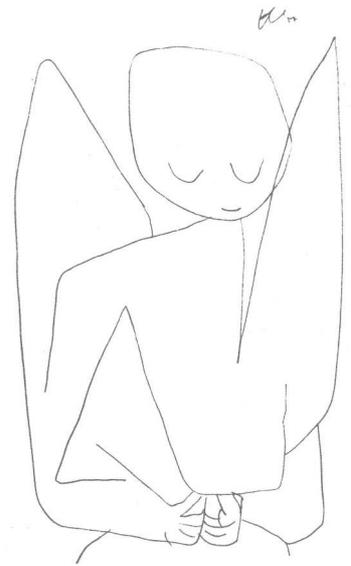
フクシマ事故の後、私はプライベートな時間を失いましたし、睡眠時間すら削るように時を過ごしました。それを知った私の知人が私の講演会についての情報をネット上に公開するためのページ (<http://healing-goods.info/koide/>) を作ってくれました。それをよいことに、私は自分でHPを作る作業をさぼり続けてきました。でも、信州に来て3年半、そろそろ自分でできることは自分でしようと思うようになりました。講演会情報も最低限の情報になってしまいますが、そのHPに含め、その他、原子力に関わって来た者として公開したいと思うものを少しずつでも載せて行こうと思います。そのため、今回このページを公開します。

私は、これまでずっとネットには関わらないと公言してきました。匿名で、責任を負わない言葉が飛び交う世界に私の身を置き、そのために私の時間を使うことは決してしないつもりです。その代わりに私は、私に対して個別にコンタクトくださる方には、どの方に対しても必ずご返事を差し上げることにしてきました。私の現在の連絡先を下に記しておきます。必要であれば、ご連絡ください。

2018年8月末日

小出 裕章

e-mail: koidehiroaki1949@yahoo.co.jp



パウル・クレー
Paul Klee
《忘れっぽい天使》1939, 880(VV 20)
„vergesslicher Engel“
Pencil on paper
© 1988, VG BILD-KUNST, Bonn